

バス送迎に当たっての 安全管理の徹底について

仙台市障害者支援課 施設支援係

目 次

1. 基準省令の改正内容
2. 留意事項
3. 装備すべき安全装置
4. 経過措置
5. 安全計画の策定

1. 基準省令の改正内容

【義務付けの内容】

- ①通所等のために自動車を運行する場合、乗降車の際に、
点呼等の方法で児童の所在を確認すること
- ②通所用の自動車を運行する場合は、自動車に安全装置を
装備し、装置を用いて、降車時の①の所在確認を行うこと

1. 基準省令の改正内容

【義務付け対象となる施設】

- ・ 児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む）
- ・ 放課後等デイサービス事業所

1. 基準省令の改正内容

【施行期日】

- ・ 令和5年4月1日より施行

※②の安全装置の装備については経過措置として、装置を備えることが困難な場合、令和6年3月31日まで代替的な措置を講ずることで差し支えないこととする

2. 留意事項

【所在確認】

送迎用車両の運行に限らず、事業所外活動など児童の移動のために自動車を運行するすべての場合が対象

※既にある事業所のマニュアルに加え、添付の「こどものバス送迎・安全徹底マニュアル」をご活用ください

2. 留意事項

【安全装置の義務付け対象となる自動車】

- ・ 通所用のうち、座席(※1)が2列以下のものを除き全ての自動車
- ・ 3列以上でも「その他利用の態様を勘案し、これと同程度に児童の見落としのおそれが少ないと認められるもの(※2)」は除外

(※1) 「座席」には児童が車椅子に乗ったまま乗車するためのスペースも含む

(※2) 例えば、児童が3列目以降を確実に使用できないように、確実に通過できない鍵付きの柵を車体に固着させ、2列目と3列目を隔絶させるなど

3. 装備すべき安全装置

- ・国土交通省公表の「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」に適合すること

※適合する装置については、内閣府HPにリストが公表されています

(内閣府HP：送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のリストについて)

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/anzen/list.html>

※安全装置の導入については、国からの補助（1台につき17.5万円）が予定されていますが、詳細が示され次第、お知らせします

4. 経過措置

- ・ 令和6年3月31日までの間、代替措置を講ずることとされているが、**可能な限り令和5年6月30日までに導入**するよう努めること
- ・ 経過措置期間内であっても、送迎時の安全管理を徹底し、児童の降車後に運転手等が車内の確認を怠らないように代替措置を講じること

5. 安全計画の策定

【義務化の内容】

- ・ 安全計画を策定し、計画に従い必要な措置を講じること
- ・ 従業者に計画を周知し、研修や訓練を定期的に実施すること
- ・ 保護者に対し計画に基づく取組み内容を周知すること

※計画は定期的に見直しし、必要に応じて変更すること

5. 安全計画の策定

【安全計画の内容】

- ・ 設備の安全点検
- ・ 従業者や児童等に対する事業所外での活動、取り組み等を含めた事業所での生活その他の日常生活における安全に関する指導
- ・ 従業者の研修及び訓練その他事業所における安全に関する事項

5. 安全計画の策定

【施行期日】

- ・ 令和5年4月1日より施行

【経過措置】

- ・ 令和6年3月31日までの間、それぞれ「講じること」「実施すること」「周知すること」とあるところを「〇〇するよう努めること」とする